

放送倫理・番組向上機構[BPO]  
2017(平成29)年度第1回 理事会 議事録

1. 日 時 2017(平成29)年5月26日(金) 午後5時～6時10分
2. 場 所 放送倫理・番組向上機構[BPO] 第1会議室
3. 出席者 濱 田 理事長  
三 好 専務理事 高 橋 理事・事務局長  
坂 井 理 事 藤 久 理 事  
山 野 理 事 荒 木 理 事  
行 成 理 事 伝 川 理 事  
木 村 理 事  
貝 賀 監 事 沖 山 監 事

4. 議 題

- (1) 2016(平成28)年度 業務報告・決算報告  
(2) 評議員の交代について  
(3) その他

5. 配付資料

- (1) 2016年度 BPO年次報告書 <概況>  
(2) 2016年度 決算報告書  
(3) 正味財産増減計算書の概要  
(4) 正味財産増減計算書(予算対比)  
(5) BPO評議員会・評議員の候補者(案)

6. 議 事

冒頭、高橋理事・事務局長から、「全理事が出席し、BPO規約第15条2項の規定(過半数の理事の出席)により、理事会は有効に成立する」旨を報告の後、議事に入った。

(1) 2016(平成28)年度 業務報告・決算報告

<業務報告>

高橋理事・事務局長から、2016年度のBPO活動について、資料に基づき概要、以下の報告を行い、全会一致で承認した。

- 2016年度のBPOは、三つの第三者委員会の活動を中心に展開した。
- 放送倫理検証委員会は、以下の2事案について「委員会決定」を通知・公表した。  
また、委員会発足10周年記念シンポジウムを2017年3月に開催し、156人が参加した。
  - ・TBSテレビ『珍種目No.1は誰だ!? ピラミッド・ダービー』  
「双子見極めダービー」に関する意見 (2016年12月6日 通知・公表)
  - ・「2016年の選挙をめぐるテレビ放送についての意見」 (2017年2月7日 通知・公表)

- 放送人権委員会は、以下の5件の「委員会決定」を通知・公表した。
  - ・フジテレビ「自転車事故企画に対する申立て」  
見解：放送倫理上問題あり (2016年5月16日 通知・公表)
  - ・テレビ朝日「世田谷一家殺害事件特番への申立て」  
勧告：放送倫理上重大な問題あり (2016年9月12日 通知・公表)
  - ・NHK総合「STAP細胞報道に対する申立て」  
勧告：人権侵害[補足意見1・少数意見2、付記] (2017年2月10日 通知・公表)
  - ・テレビ熊本「事件報道に対する地方公務員からの申立て」  
見解：放送倫理上問題あり[少数意見3、付記] (2017年3月10日 通知・公表)
  - ・熊本県民テレビ「事件報道に対する地方公務員からの申立て」  
見解：放送倫理上問題あり[少数意見3、付記] (2017年3月10日 通知・公表)
- 青少年委員会は、審議入りした以下の1件に“委員会の考え”を公表した。
  - ・TBSテレビ『オール芸人お笑い謝肉祭‘16秋』に関する「委員会の考え」  
(2016年12月21日 公表)
- 2016年度の「視聴者意見」の総数は20,581件。最近は、メールによる意見が増加傾向にあるが、番組を見ずに掲載されたネット上の意見をコピーして送ってくるため、同じような意見が何件も寄せられるケースが増えている。
- 委員会決定を各放送局の制作現場に浸透させ、理解促進を図るため、広報活動や講師派遣を実施したほか、委員と各放送局との「意見交換会」は、3委員会が8地区で延べ9回開催した。

### <決算報告>

三好専務理事から、2016年度収支決算について、資料を基に概要、以下の報告を行った。  
注：金額の説明は万円単位

- 経常増減の部の「経常収益」は、受取会費など合計4億575万円と、前年度とほぼ同額。「経常費用」は、事業費が2億8,612万円と、前年度比1,815万円の減少となったが、内訳科目ごとの増減内容は以下のとおり。
  - ・放送人権委員会費は、臨時委員会の開催や委員会審理の長時間化などにより委員報酬が増加したものの、全体で93万円の減少。
  - ・放送倫理検証委員会費は、新委員として評議員会で選任された方の体調が回復されるまで委嘱を待つこととし、1名欠員のまま委員会を運営したことや、委員会発足時からの調査顧問との契約を解約したことなどにより、全体で715万円の減少。
  - ・青少年委員会費は、「青少年調査」の実施に向けた具体的検討に入ったことから調査費用が増加したものの、全体で519万円の減少。
  - ・視聴者関係経費は、全体で408万円の減少。
  - ・広報関係経費は、全体で38万円の増加。
  - ・委員会共通費は、複写機の更新に関連してコピー使用料金が低減したことなどにより、全体で116万円の減少。

- 管理費は、1億188万円と、前年度とほぼ同額。
- 事業費と管理費を合わせた「経常費用計」は3億8,800万円と、前年度より1,742万円減少したことが寄与し、「当期経常増減額」は1,774万円のプラス。
- 経常外増減の部は、収支ともに全く無かったことから、「当期一般正味財産増減額」は、1,774万円のプラス。
- 2016年度末の資産総額は1億5,728万円(前年度比1,712万円増)、負債総額は9,627万円(前年度比61万円減)で、正味財産額は6,101万円(前年度比1,774万円増)である。

続いて沖山監事から、「5月15日の午後、BPO事務局内において、貝賀監事とともに2016年度業務と決算の概要説明を受けた後、会計上の帳簿等を監査した結果、役員の職務執行状況ならびに会計処理は適正であることを確認した」との報告があった。

以上の報告の後、2016年度収支決算を全会一致で承認した。

## (2) 評議員の交代について

三好専務理事から、山田太一前評議員の後任候補者について、資料に基づき提案し、意見交換の結果、内館牧子さん(脚本家、作家)を第1候補者として、事務局が折衝することとした。

## (3) その他

三好専務理事から、最近のBPOの動向について、① 放送倫理検証委員会が2月に審議入りした東京MXテレビジョンの『ニュース女子』に関して、この5月の放送人権委員会が審理入りを決めたこと、② その結果、一つの番組について二つの委員会が審議・審理することになったため、「濱田理事長と3委員長 会談」を予定していること、③ 放送人権委員会は、申立て件数が近年非常に多いため、委員を1名増員予定。また、担当調査役を4月から既に1名増員したこと、④ 青少年委員会は、視聴者からの意見が高齢者に多いことから、子どもたちの番組受容状況を知るために、数年前から「青少年モニター制度」を始め、約30名の中高生モニターから意見を聞いている——ことなどを報告した。

以上の報告の後、BPOの活動等について理事との間で意見交換が行われ、報告を了承し、閉会した。

以上